

全学向け情報教育の近況報告

メディア情報処理研究部門

右田 雅裕

migita@cc.kumamoto-u.ac.jp

1. はじめに

本稿では、平成 25 年度の本学における全学向け情報教育の近況について報告します。

情報基礎演習科目「情報基礎 A・B」は、熊本大学の全 1 年生約 1800 名を対象に開講されており、総合情報基盤センターが主体となり実施されてきました。情報分野における基礎的な知識と技能の習得を目標とした教育体制が平成 14 年度より実践されています。

2. 情報基礎 A・B

情報基礎 A・B は、本学の全 1 年生を対象にそれぞれ前学期及び後学期に開講される情報基礎演習科目です。平成 25 年度は、「情報基礎 A」が 26 クラス約 1820 名の受講者で、「情報基礎 B」が 26 クラス約 1850 名の受講者で構成され、それぞれ 13 名の教員（内非常勤は、学期途中の異動に伴い情報基礎 A で 4 名（異動までは 3 名）、情報基礎 B で 4 名）が講義を担当しました。情報基礎 A・B では、LMS (Learning Management System)として原則的に WebCT (現 Blackboard Learning System) を用いて、テキスト（独自に作成したオンラインコンテンツ）の提示や課題の提出、確認テスト（オンラインテスト）等が実施されています。平成 25 年度も 4 月から通年にわたり特に大きな障害もなく演習が実施されました。

平成 15 年度から平成 25 年度まで、情報基礎では LMS として一貫して WebCT (現 Blackboard Learning System) を利用してきました。平成 26 年度にはこの全学 LMS の更新が計画されており、新たなプラットフォームとなる Moodle への移行が予定されています（ただし、平成 26 年度は現行の WebCT も併存）。それに先行して、平成 25 年度には情報基礎におけるその試行が実施されました。前期開講の情報基礎 A では、1 講義回で全クラスの受講者が Moodle にて課題提出を試みました。この課題提出では、アップロードされた課題が特に大きな障害もなく Moodle のコースへ提出されることが確認され

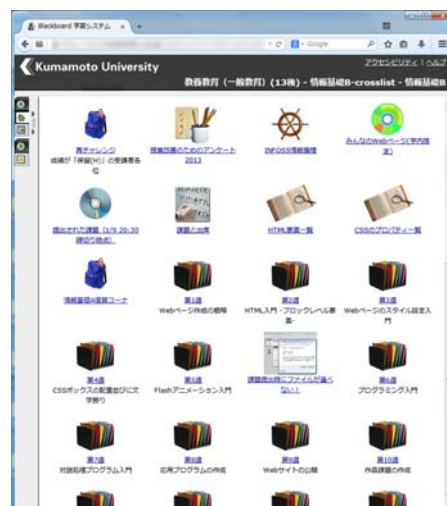


図 1 平成 25(2013)年度の「情報基礎 B」ホームページ

ました。これを受けた後期開講の情報基礎 B では、1 講義回分の講義内容すべてを Moodle 上のコースに構築し、全受講生が Moodle 上のコンテンツを通してその講義回の演習を行いました。これにより、情報基礎において通常の講義で利用される LMS 機能であるテキストの提示や課題の受付、確認テストの実施がそれぞれ特に大きな障害もなく情報基礎の全クラスを対象に実施可能であることが確認されました。また、平成 24 年度に引き続き、本学附属図書館中央館の改修工事（平成 24 年 7 月～平成 25 年 9 月）に伴う黒髪地区の土日 PC 利用サービスとして、当基盤センターの実習室が土日解放されました（平成 25 年 5 月～平成 25 年 9 月の期間の土日）。昨年度同様、実習室の土日開放（13:00～20:00）時には、利用方法に関する質問等に対処するために TA を配置することで対応に当たりました。

3. 情報基礎 A・B アンケート結果

情報基礎 A・B では各学期末の講義終了時に受講者（学生）へのアンケートを LMS 上で実施しています。ここでは平成 25 年度に実施したアンケート結果の一部を示します。

3.1 情報基礎 A のアンケート結果

質問 1

フォルダの新規作成、ファイルのコピーとペーストや移動、ファイルやフォルダの削除などの操作を行えますか？

- a. 自信をもって行える
- b. ある程度は行える
- c. できない
- d. 質問の意味が分からない

図 2 に質問 1 の結果を示します。

質問 2

プレゼンテーションソフトウェアを利用して、文章、静止面だけでなく、アニメーションなど動きのあるプレゼンテーション資料を作成できますか？

- a. できる
- b. ある程度はできる
- c. できない

図 3 に質問 2 の結果を示します。

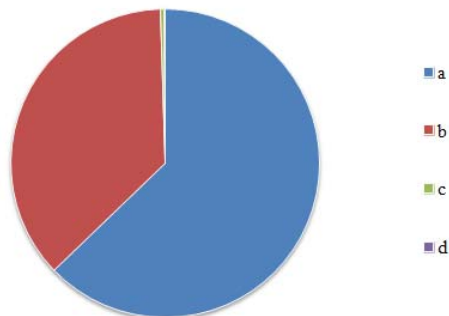


図 2 質問 1 の結果 (回答数 : 1607)

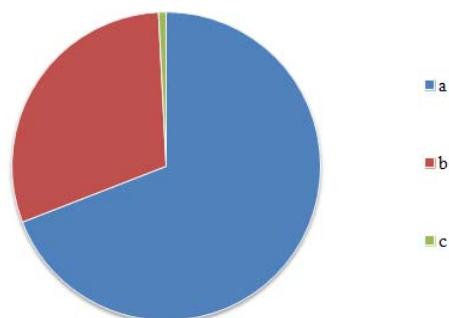


図 3 質問 2 の結果 (回答数 : 1607)

質問 3

Web 検索において、AND 検索と OR 検索を適宜、使い分けることができますか？

- a. できる
- b. ある程度はできる
- c. できない

図 4 に質問 3 の結果を示します。

質問 4

情報基礎 A では多くのことを学習してきました。あなたが良かった、面白かった、役に立ったと思える回を 3 つあげてください。

- a. INFOSS 情報倫理
- b. 電子メール (Thunderbird の利用)
- c. ワードプロセッサ (OpenOffice.org Writer)
- d. ペイント (GIMP)
- e. ドロー (OpenOffice.org Draw)
- f. 情報検索
- g. プレゼンテーション (OpenOffice.org Impress)
- h. スプレッドシート (OpenOffice.org Calc)

図 5 に質問 4 の結果を示します。図 5 の縦軸は各選択肢の全回答に対する割合を示します。

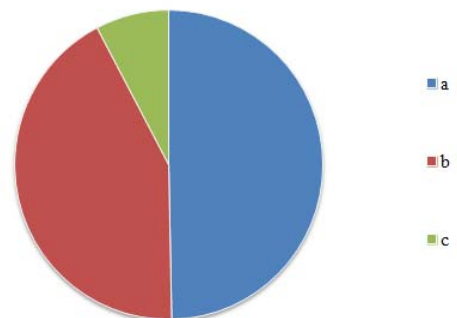


図 4 質問 3 の結果 (回答数 : 1605)

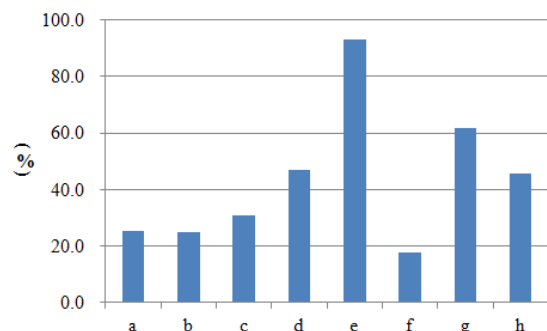


図 5 質問 4 の結果 (回答数 : 1607)

3.2 情報基礎 B のアンケート結果

質問 5

あなたは大学入学以前に（中学校、高校、自宅などで）、Web ページを作成したことがありましたか？「ある」場合は「いつ／どこで」を、「ない」場合は「ない」を選択してください。

- a. ない
- b. 中学校
- c. 高校
- d. 中学校と高校
- e. 自宅
- f. それ以外

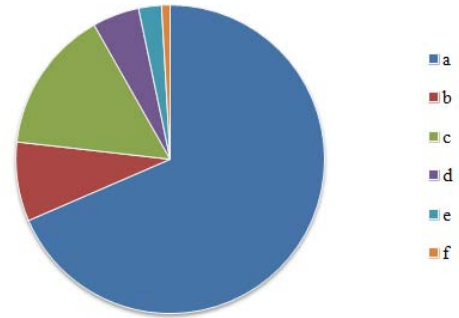


図 6 質問 5 の結果（回答数：1175）

図 6 に質問 5 の結果を示します。

質問 6

情報基礎 A 第 2 週、情報基礎 B 第 13 週で利用した Linux についてお尋ねします。Linux を利用したのは初めてですか？

- a. 初めて利用した
- b. 以前、利用したことがある
- c. ときどき利用している
- d. ほぼ毎日利用している

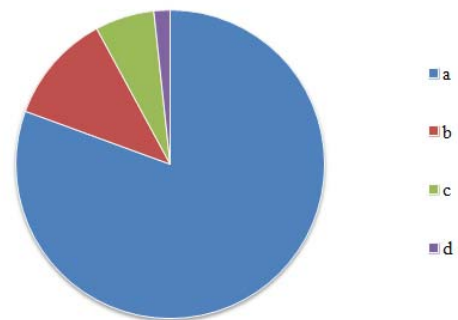


図 7 質問 6 の結果（回答数：1172）

図 7 に質問 6 の結果を示します。

質問 7

情報基礎 B では、Web ページ作成における基礎事項として、HTML、CSS、ActionScript（Flash アニメーション）を学習しました。あなたにとって、難しく感じた学習内容の順番をお教えください。選択肢は、「易しい → 難しい」の順に並んでいるものとお考えください。

- a. すべて同じくらい難しかった
- b. HTML → CSS → ActionScript
- c. HTML → ActionScript → CSS
- d. CSS → ActionScript → HTML
- e. CSS → HTML → ActionScript
- f. ActionScript → CSS → HTML
- g. ActionScript → HTML → CSS
- h. すべて易しかった

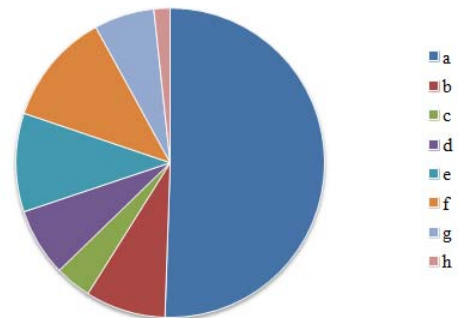


図 8 質問 7 の結果（回答数：1174）

図 8 に質問 7 の結果を示します。

質問 8

Web ページ作成の学習であなたがもっと学習してみたいことがあればお聞かせください。複数回答

は可能です。

- a. HTML をもっと詳しく
- b. CSS をもっと詳しく
- c. ActionScript (Flash アニメーション) をもっと詳しく
- d. Web デザイン関連について
- e. Web アクセシビリティについて
- f. Web プログラミング

- g. Web にマルチメディア（音声や動画など）をもたせる方法
- h. Web ページの公開と関係する著作権や情報倫理について
- i. Web を含むインターネット技術について
- j. 特になし

図9に質問8の結果を示します。図9の縦軸は各選択肢の全回答に対する割合を表します。

3.3 考察

情報基礎 A に関しては、前年度に引き続きプレゼンテーション資料を作成できると回答した受講者が増加しています（質問2）。これに反して、「ある程度はできる」または「できない」との回答は減少しており、この傾向は継続的です。Web 検索における AND 検索及び OR 検索の使い分けに関しては、ある程度はできると回答した受講者が増加しています（質問3）。「できる」または「できない」との回答は減少しているため、スマートフォンの普及とともに Web 検索の利用機会は広がりつつあるものの、効果的な検索ができていないと感じる受講者も増加傾向にあると考えられます。

情報基礎 B に関しては、大学入学以前に Web ページを作成したことに対して、作成したことがないと回答した受講者が増加しています（質問5）。作成した時期・場所として「中学」または「中学校と高校」との回答が減少しており、中学時の作成機会が減少しつつあることが昨年度と同様に現われています。Web ページ作成における基礎事項の難易度比較に関しては、すべて同じくらい難しかったと回答した受講者が増加しています（質問7）。反対に、すべて易しかったとの回答は減少しており、Web ページ作成を難しく感じている受講者が増加傾向にあると考えられます。全回答に占めるその割合としては、前述の中学時の機会減少分と類似している点も気がかりな点です。

4. おわりに

前年度（平成24年度）のアンケート結果と比較すると、平成25年度全体としては概ね同傾向の結果が得られています。大きな割合ではないものの、わずかな変化が見られる部分に関しては、大学入学以前の利用経験が影響している可能性も否定できません。アンケートの結果は、今後の情報基礎 A・B の講義・コンテンツ改善に役立てていく予定です。

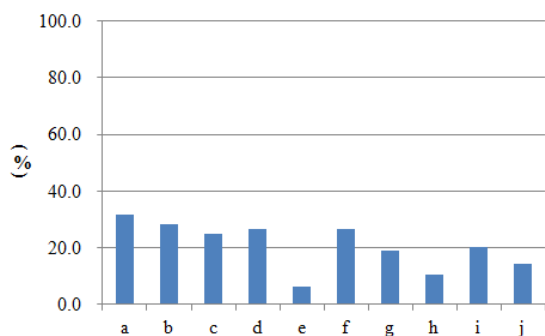


図9 質問8の結果（回答数：1172）